昭和58年5月1日　第292号

市章

広報えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155／編集・秘書広報課／電話・31－2111（代）／〒243

毎月1日・15日発行

世帯と人口

昭和58年4月1日
世帯　25,904世帯　（－13）
人口　86,090人　（＋135）
男 44,121人　女 41,969人

もうすぐアユ漁解禁

マナー守って楽しい釣り・川遊びを

今年も相模川のアユ漁が六月一日、解禁になります。今年は海で育つ稚アユが豊富。また、放流されるアユも去年より多く、さらに寒川ダムに設けられた魚道で確認される自然遡（そ）上して来るアユも魚影が濃いというようにいろいろな面で好条件に恵まれており、アユ釣りファンにとっては解禁日が待ち遠しいところです。市沿岸を管理する相模川第二漁業協同組合海老名支部（岡部好直支部長）では、こうしたアユ漁の見通しについて「今年は全体として低調だった去年に比べ、非常に期待できる」としています。また、水ぬるむ季節、釣り人だけでなく、市周辺で最も自然が残されたこの川原で休日を、という方も多いでしょう。こうして相模川を訪れるみなさんにお願いしたいことは、水難事故防止など安全上の注意とゴミの持ち帰りで川をいつまでも美しく保つことです。

アユ漁解禁日は6月1日

（＝漁協役員による稚アユ放流＝写真提供：朝日新聞社厚木支局　佐怒賀一司氏）

今年のアユ漁予想

今年の海産の稚アユは非常に豊富で、湘南方面の海で捕られた二百万尾のうち、百五十万尾が相模川へ放流されます。

また、県淡水魚増殖試験場で養殖された百二十五万尾のうち七十二万尾がやはり相模川に放流され、合計二百二十二万尾（去年＝百八十五万尾）が同川を住み家とします。

その上、寒川ダムに設けられた魚道の周辺で確認される自然遡（そ）上して来た稚アユも豊富で、育ちも良く、今年は水温など川の状態が良いことを示しています。

全体として、低調だった去年に比べ、今年はいろいろな面で好条件に恵まれており、放流量も先の二百二十二万尾に加えてさらに琵琶湖産の稚アユ四十五万尾を追加放流することも検討されており、釣り人にとって、型・数ともに期待は大きくなる一方です。

遊漁券を買って

今年のアユ漁解禁期間は、六月一日から十月十四日までです。去年から、それまで行われていた十二月一日から三十日までの再解禁はアユの増殖保護のため中止しています。

相模川は、遊漁のためにアユやその他の魚を放流していますから、釣りなどの漁をする場合は遊漁券を買わなければなりません。券は釣り具店または現場で売っています。値段は右表の通りです。

釣り具店での遊漁券価格

区分	遊漁料金
年釣券	4,500円
日釣券	500円
雑魚券	300円
日網券	2,000円
中学生	（日釣、雑魚）半額
年網券	10,000円

※ただし、現場で漁場監視員に支払うときは、日釣料金100円、日網料金300円がそれぞれ追加されます。

小魚は放して

相模川ではアユのほか、コイ、フナ、ウナギ、テナガエビなど多種類の魚も放流されており、これらは一年中釣ることができます。しかし、釣った魚を全部持ち帰るのではなく、小さなものは再び川に帰してやるのが釣り人の良識というものではないでしょうか。

漁協では、体長十八㌢以下のコイ、二十四㌢以下のウナギはキャッチ・アンド・リリース、つまり、川へ帰すよう規定しています。

また、ヤマベなどその他の魚については体長による規定はありませんが、これらの魚もあまり小さなものは放してやってほしい、と漁協では呼びかけています。

アユは川魚の〝女王〟

アユは釣ってはその手ごたえが川魚の中で最も強烈で、一度それを味わうと忘れられなくなると言われますが、食べてもその味がやはり川魚の中で群を抜いて美味ということで、その美しい姿、良い香りとともに、正に川魚の女王と呼ぶにふさわしい魚です。

その料理法のいくつかを紹介します。

塩焼き…アユの食べ方でいちばん美味とされる方法で、腹わたを抜かずに塩をし、美しい姿を損わないように金ぐしか竹ぐしを刺し、できれば炭火で焼くのが理想的です。

天ぷら…十㌢前後の小型のアユが向いており、アユの肌が透けて見えるくらい薄くコロモをつけて揚げます。

刺身…釣りたての大型のアユは刺身で食べるというのは意外と知られていません。透き通った身は非常に美味で、ツマにタデ（ヤナギタデ）を添えると最高です。一度試してみてください。

これぞ川魚の女王

川をだめにするゴミ

これ以上自然をいじめないで

市沿岸を含む相模川第二漁業協同組合（菊地光男会長）の管理区域（延長約十六㌔）は、六つの漁業協同組合が管理する総延長約百三十㌔の相模川本流のうち、年間訪れる人々が最も多い区域です。

去年六月一日－十月十四日のアユ漁期間中、アユ漁や行楽のために同漁協管理区域を訪れた人は延べ約四十三万人でしたが、ゴミが多くなるのもこの期間で、自然保護や美化という点からも漁協や市の悩みの種になっています。

相模川の主なゴミとそれがもたらす結果を挙げてみます。

空きカン・空きビン…水辺で遊ぶ人の足にとって鋭い凶器となりけがのもと。特にビンのかけらは危険。

釣り糸・釣り針…釣り糸が足にからんでしまい血行を阻害して足が腐ってしまう野鳥やくちばしにからみついた釣り糸が取れず、エサを食べられなくて死ぬ野鳥がいます。無論、釣り針は人の素足に刺されば、その痛さとはすすことの難しさは想像を絶するものがあります。

ビニール類…これは人間が創造した物質で、人々に使われるようになってから百年にも満たないため、まだそれを食べて分解するバクテリアがいません。ですから一度捨てられたら、何十年、何百年でもなくならず、自然の美観を損わせます。

紙クズ類…軽いものです。持ち帰るのに苦労はないはず。

相模川の水辺はすばらしい自然の宝庫です。もう一度来た時に変わらぬ姿であるよう、ゴミは必ず持ち帰ってください。

「捕る漁業」から「つくる漁業」へ完全に移行した相模川では、遊漁者の良識次第で豊かな川か、あるいは荒れ果てた川になる運命を持っています。ご協力ください。

5月11日～20日 新入学園児に気をつけて

春の全国交通安全運動

「交通安全は家庭、学校、職場から」気をつけて―ひと声どこでも、どの子にも二思いやりと安全確認で二輪車事故防止―をスローガンに五月十一日から二十日までの十日間、春の全国交通安全運動が実施されます。

春は入園・入学の季節。新入学・園児らは通園、通学にまだ慣れていません。交通ルールとマナーを守り、悲惨な交通事故をなくすため、みなさんのご協力をお願いします。今回の運動の重点は、次の通りです。

○歩行者、自転車利用者、特に子供とお年寄りの交通事故防止
○二輪車の安全利用
○安全運転の確保、特に若年ドライバーの無謀暴走運転の防止
○シートベルト着用の推進

子供たちの安全、みんなで

投票率は61.88％

県知事・県議選終わる

県知事選挙と県議会議員選挙は四月十日に市内十八か所の投票所で投票が行われ、翌十一日海老名小学校体育館で開票が行われました。

投票率は、県知事選挙が六一・八七％（県内投票率は五八・四七％）、県議会議員選挙が六一・八八％でした。

県議会議員は、開票と同時に選挙会が開かれ、伊波登氏が当選人と決定しました。

☆知事選候補者別得票数（海老名市開票区）―敬称略・順不同

ながすす二二	二九、五六四票
山本　正治	三、三八〇票

☆県議会議員候補者別得票数（海老名市選挙区）―敬称略・順不同

伊波　登	二二、二七〇票
井上　保	一〇、九五六票
森田　完一	七、六六二票
武藤まさひろ	二、一四七票

明るい選挙を推進

5月10日 城山ダム管理演習

放水は行いません

城山ダムでは、梅雨や台風などによる出水期を迎え、ダム放流による災害を未然に防止するため、ダム管理演習を実施します。

なお、当日は「ダム」からの放流は行いませんが、スピーカー放送、サイレン吹鳴、電光表示、赤色回転灯の点灯、警報車の巡回放送などを行います。

▽実施日＝五月十日（火）小雨決行▽実施時間＝スピーカー放送、サイレン吹鳴は午前十一時～午後一時と午後一時半～三時半、電光表示と赤色回転灯の点灯は午前十一時～午後四時。警報車の巡回放送は午前十時五十分～午後四時。

市長随想

ゲーテの言葉

先日、人づてに聞いたことですが、約百五十年前のドイツの詩人ゲーテは、一時期ある都市の市長に就任したことがあるそうで、このことはあまり知られていないようです。

ゲーテは、市長就任の第一声で「お互いの家の前を毎日五分間だけ清掃しよう」と市民に呼びかけたそうです。

この第一声には、清掃が実行されることで市内がきれいになると同時に、清掃を通して市民の間に「和」が生まれ、そのことが、更に市民参加のまちづくり推進に通じるといった大きな意味が蔵んでいると思います。

毎老名市も四月から五十八年度予算の執行に入りました。経済状況はご承知のとおり低迷を続けていますが、足踏みは許されません。そのため厳しい財政事情の中で行う事業は重点主義をとらざるを得ません。

ご不満もあると思いますがゲーテの言われとする市民相互の、そして行政との信頼と協調ができあがることで、まちづくりは進むはずです。

「心の豊かさは節度の中から生まれる」―ゲーテのこの言葉はご承知の方も多いと思いますが、偉大な詩人ゲーテではなく、非凡な政治家ゲーテの言葉かと思います。

心豊かなまちを目指したいものです。

市長　左藤　究

ごめい福を祈る

市議会議員・山田氏逝去

市議会議員山田光太郎氏が去る四月十二日午後九時二十三分、急性白血病心不全のため、伊勢原市下粕屋の東海大学病院で逝去されました。五十五歳・中新田。

同氏は、昭和五十年十月に市議会議員に当選。総務常任委員会委員、建設常任委員会委員、文教社会常任委員長、経済環境常任委員を務めるなど市政に尽くされました。慎んでこめい福をお祈りいたします。

プレイ・ガイド

豪華 東京漫才大行進

とき・5月29日（日）午後1時開演／ところ・市文化会館／出演・コロムビア・トップライト、内海桂子・好江、W・けんじ、青空・千夜―夜、リーガル・天才秀才ほか9組、司会は青空たのし／入場料・2,000円（全席指定）好評前売り中／共催・市文化会館事業協会、漫才協団

※5月4日は、市文化会館・市立中央公民館とも3日（祝日）の振り替え休館となります。

こども劇場　ミュージカル

にんぎょ姫・ピノキオ

出演　稲垣美穂子ほか

とき・7月21日（木）午前10時・午後1時の2回公演／ところ・市文化会館／入場料・A席1,200円、B席1,000円（団体割引はA席1,000円、B席700円）／前売り・5月15日（日）午前9時から、電話予約は午後1時から／主催・市文化会館事業協会（☎32・3231）。

第7回名画の集い

ローマの休日

（入場無料）

監　督　ウィリアム・ワイラー
主　演　オードリー・ヘップバーン
　　グレゴリー・ペック
同時上映「特別天然記念物　尾瀬」

とき・5月28日（土）①午後2時～4時半②午後6時半～9時／ところ・市立中央公民館／人員・各回100人先着順／申し込み・電話または直接に市立中央公民館（上郷476―2　☎32・3231）。

情報コーナー

市役所　ところ　〒243 海老名市国分155
　　もしもし　31・2111(代)

◆美化運動推進ポスター展

市と市美化運動推進協議会では、美化運動推進ポスター展を開きます。同展では市内全小学校の児童から募集した昭和57年度美化運動推進ポスター1,088点のうち、第1次審査を通過した優秀作品34点を展示します。ぜひ、ご来場ください。

▷とき・ところ＝5月11日～15日、ニチイ海老名店3階文化ホール　▷入場自由。

◆市陸上競技選手権大会

5月29日（日）午前9時から、海西中学校グラウンド（小雨決行）　▷種目＝100㍍、200㍍、400㍍、800㍍と400㍍・800㍍リレー、走り幅とび、走り高とび、砲丸なげなど　▷対象＝中学生以上の市内在住・在学・在勤者の方　▷申し込み＝当日直接会場で　▷問い合わせ＝午後6時～9時の間に佐々木信雄（☎38・3196）　▷その他＝この大会は市総合体育大会を兼ねます。

◆暮らしの1日教室・講座

暮らしの1日教室は、5月20日（金）午前10時～正午、厚木消費生活センター　▷内容＝「麻婆豆腐」手づくりへの挑戦　▷講師＝消費生活コンサルタント　笹生ふさ子さん　▷人員＝55人先着順　▷申し込み＝厚木消費生活センター（☎23・6411）。

暮らしの講座は、①5月26日（木）▷内容＝選ぶ側から見た"表示"。の問題点　▷講師＝新生活事業センター理事　新井通友さん　②6月2日（木）▷内容＝「低塩・低糖・無添加」表示　▷講師＝消費生活コンサルタント　笹生ふさ子さん、県婦人総合センター商品テスト室　柳内志保子さん　③6月10日（金）▷内容＝消費者からみてわかりやすい表示を　▷講師＝消費生活コンサルタント　小杉啓子さん　▷時間・場所＝①②③とも午前10時～正午、厚木消費生活センター　▷人員＝55人先着順　▷申し込み＝厚木消費生活センター（☎23・6411）。

◆厚木電気通信研究所の施設案内

電電公社厚木電気通信研究所では、4月1日の開所を記念して、同研究所の役割や設備などを紹介する施設案内を開催します。ぜひ、ご参加を。▷開催日・場所＝5月12日（木）、13日（金）午前9時半～午後4時半、厚木電気通信研究所（厚木市小野1839。当日は、小田急線本厚木駅から研究所まで臨時バスを運行）　▷問い合わせ＝厚木電気通信研究所企画管理室情報係（☎40・2035）。

◆園芸教室（県厚木労働センター）

5月14日（土）午前9時半～11時半、県厚木労働センター　▷内容＝サツキ、ツツジの盆栽　▷講師＝盆栽育成家　坂間輝男さん　▷対象・人員＝地域住民50人先着順　▷費用＝無料　▷申し込み＝電話で県厚木労働センター（☎23・6211）。

◆婦人初心者体操教室

5月12日～7月14日までの間の毎週木曜日　午前10時～正午、県央地区体育センター（厚木市温水1329番地　☎47・7211）　▷内容＝リズム体操、エアロビクスダンス、ポール・器具を使った体操など　▷対象＝婦人40人、超えた場合は抽選　▷費用＝受講料1,000円　▷申し込み＝5月10日（火）午前10時に県央地区体育センターへ本人が直接来所すること。

◆東海大学湘南公開セミナーに参加を

①5月14日（土）▷内容＝シルクロードを取材して　▷講師＝日本放送協会　鈴木肇氏　②5月26日（木）▷内容＝世界コミュニケーション年にあたって　▷講師＝世界コミュニケーション年国内委員会委員長　永井道雄氏　③6月17日（金）人間とコンピューター　▷講師＝東京大学大型計算機センター教授　石田晴久氏　▷時間・場所＝①②③とも午後4時45分～6時半、東海大学湘南校舎（小田急線大根駅下車徒歩15分）8411教室　▷入場＝自由　▷問い合わせ＝東海大学湘南公開セミナー委員会（〒259―12　平塚市北金目1117　☎0463・58・1211　内線2296）。

生活用品交換情報

<譲ります>ベビーベッド、赤ちゃん防護さく、歩行器、ギア付自転車、婦人用自転車、食器だな、コンビラック、本だな、2段ベッド、台所用ステンレスのコーナー。

<求めます>うば車、サイドボード、子供用自転車、電動ミシン、オルガンまたはエレクトーン、ピアノ、ベビーバギー。

▷登録期間は3か月間。交換はマナーを守り登録者同士直接に。紹介を受けたあとは交渉結果を必ず商工課まで報告。▷情報・問い合わせは、商工課。

募　集

◆「つげの木コール」会員

明るく楽しいママさんコーラス「つげの木コール（旧国分コーラス）」の会員を募集します。▷練習日・場所＝毎週水曜日午前10時～正午、国分児童館　▷申し込み＝電話で斉藤（☎31・3232）まで。

――訂　正――

4月15日号本紙に掲載した「つげの木コール」会員の申し込み先の電話番号（☎31・3231）は（☎31・3232）の誤りでした。

財政特集

響くつちおと 進む郷土づくり

めざすは甲子園!!
8月にオープンを予定されている運動公園の野球場（撮影協力：社家の少年野球チーム「ハヤブサ」＝長谷川正春監督、部員31人＝）

限られた財源を効率的に

58年度予算総額189億円

前年度に比べ、八・三％伸びて総額百八十九億四千七百七十六万円となる五十八年度予算が三月定例議会で可決し成立しました。この予算は、限られた財源を効率的に配分し、都市基盤の整備、市民福祉の充実、教育の振興などに重点的な施策を行い、「緑と太陽に恵まれたわがまちえびな」づくりを目標とした第二次総合計画（56～65年度）の達成に全力を注ぎました。

表「昭和五十八年度予算」に見られるように、予算総額は百八十八億九千七百七十六万円となり、前年度の老人保健特別会計を含めた当初予算額百七十四億九千七百三十三万円と比較すると、十四億五千四十三万円増加しました。

なお、本年二月の老人保健法の施行で、七十歳以上の方の医療費は老人保健特別会計で取り扱いますので、国民健康保険事業は前年度より一億六百十七万円の減額になっています。（この財政特集号は、地方自治法などの規定に基づき公表するものです）＝関連記事4・5・6面に＝

昭和58年度予算

（単位：万円）

会計名		本年度予算額	前年度当初予算額	差引額	伸び率	構成比
一般会計		1,494,800	1,405,840	88,960	6.3%	78.9%
特別会計	国民健康保険事業	180,649	191,266	−10,617	−5.6	9.5
	農業共済事業	3,848	3,997	−149	−3.7	0.2
	下水道事業	145,367	140,595	4,772	3.4	7.7
	老人保健	70,112	8,035	62,077	772.6	3.7
計		1,894,776	1,749,733	145,043	8.3	100.0

市民の見た58年度予算

消防分署に期待

大沢　元義さん

大沢元義さん（門沢橋、50歳・農業）

厳しい財政状況の中で当局も大変だと思います。農業に関して言えば、施設的に整備されつつあるようですので、これからは後継者育成も含めて、農業のしやすい環境作りをお願いします。また、私たち農業人の技術を生かせる場を作ってもらえれば……。最後に、今年は消防分署が南部地区にできるので期待しています。

都市基盤の整備を

谷口　賢さん

谷口賢さん（河原口、32歳・会社員）

歳入の面からみると、財源が豊かでないので、企業誘致を進めて法人税を増やせばよいと思います。歳出の面からは、国の影響か、社会福祉関係の予算が少ないのでは、また、税金を直接支払っているサラリーマンへの恩恵が少ないと思います。要望は、住みやすい都市、すなわち都市基盤の整備をお願いします。

"土の日"に注目

富田摩理子さん

富田摩理子さん（東柏ケ谷五丁目、27歳・主婦）

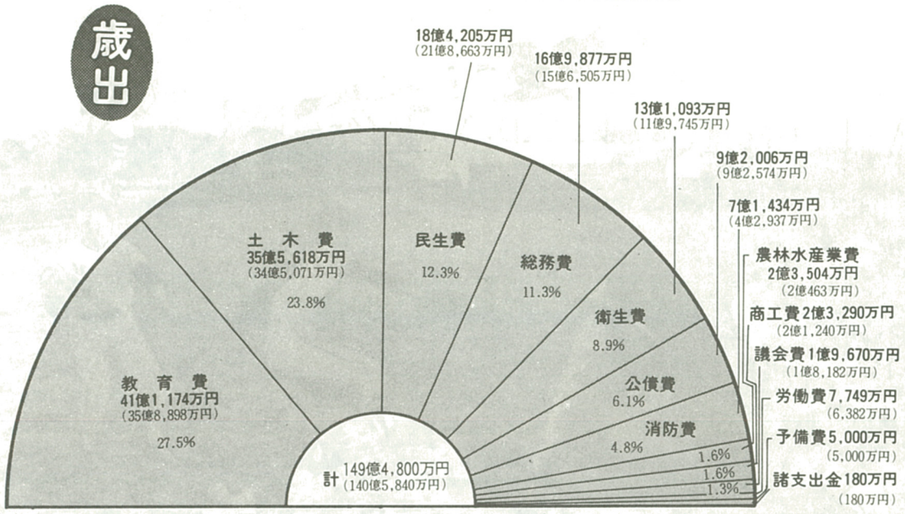
毎老名市に住んで三年。若い都市だけにこれからという面があると思います。今年度予算で注目しているのは"土の日"と図書館建設。前者は農家の人とのコミュニケーションが持てそうだし、後者は、主人が本が好きなので、要望としては、東柏ケ谷近隣公園に幼児が安心して遊べる施設を設置してほしいこと、保育所の拡張などです。

ふれあいと連帯感を

一般会計歳出予算

（　）内は57年度当初予算額

歳出



教育費は41億円

南分署建設で消防費が急増

教育費

- ○毎老名小学校のグラウンド整備及び防球ネットを設置。
- ○有馬小学校の体育館の床張替及び受水槽設置替え。
- ○今泉小学校の校舎を学校建設公社から買収。
- ○杉本小学校の校舎及び用地を学校建設公社・土地開発公社から買収、ならびに同小学校のプール建設。
- ○柏ケ谷小学校のプールを改築。
- ○毎老名中学校体育館を改築。
- ○児童・生徒の健康管理のために貧血検査を実施。
- ○学校内での軽い傷害事故を対象とした学校災害見舞金制度を創設。
- ○児童・生徒の文化活動・生徒会活動に助成金を交付。
- ○週1回の米飯給食を実施。
- ○前年度に引きつづき図書館及び（仮称）教育センターを上郷に建設。
- ○相模川高水敷を利用して中野地区にスポーツ広場を整備。
- ○児童の健全育成を図るため、児童館指導員を増員。
- ○文化財資料集を発刊。
- ○相模国分寺想定図を作成。
- ○植物分布調査を実施。

土木費

- ○毎老名運動公園の野球場にナイター施設を整備し、オープンする。
- ○東柏ケ谷近隣公園の整備のために基本計画を策定。
- ○自然環境を生かした（仮称）伊勢山自然公園（国分）を整備。
- ○市道の整備（13号線用地買収など）。
- ○毎老名駅大谷線の延長を図る。
- ○私道舗装工事補助金を充実。
- ○毎老名駅・厚木駅の自転車置場を整備・拡充。
- ○社家・中野・門沢橋地区がたびたび浸水に見舞われるので、それを解消するため、中野分水路を整備。

総務費

- ○ふるさと毎老名を再発見してもらうため「毎老名むかしばなし第2集」を発行。
- ○自治会集会所設置補助金を交付。
- ○道路反射鏡・十字マークなどの交通安全対策施設を整備。
- ○駅周辺の放置自転車対策として、禁止区域の指定及び立看板などを設置。
- ○公害監視体制強化のために公害測定車を購入。

農林水産業費

- ○農用地高度利用促進事業の実施。
- ○農道の改良・舗装、用排水路の整備。
- ○園芸協会などへの補助金及び農業近代化資金利子補給金を増額。
- ○市民が収穫の喜びを得られる「土の日」を開設。
- ○あすの農業を担う農業後継者の毎外研修に助成。

衛生費

- ○健康づくり、体力づくり推進実施計画を策定。
- ○老人保健法施行による健康診査・健康相談などの保健事業を充実。
- ○ごみの減量化、再資源化のために奨励金を交付。
- ○高座清掃施設組合のゴミ処理に対する負担金。

商工費

- ○商工会に補助金を増額し、市内商工業の総合的な改善・発展に援助。
- ○長期的・総合的観点に立った商業振興ビジョンを策定。
- ○中小企業事業資金貸付金を増額。
- ○工業集団化促進のために補助金を交付。

民生費

- ○総合福祉会館の開館に伴う維持管理費。
- ○児童健全育成団体への助成。
- ○老人家庭奉仕員の増員と対象者の拡大。
- ○畑ぼう老人一時入所措置。

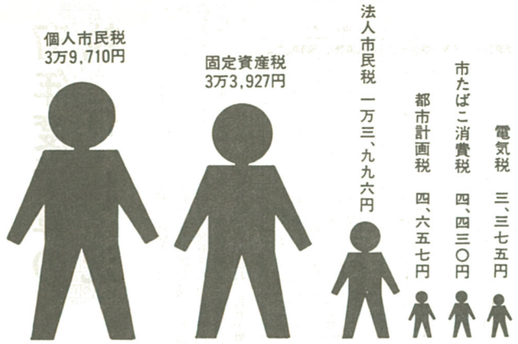
消防費

- ○コミュニティ防災センターを併設した（仮称）消防南分署を上河内に建設。
- ○消防ポンプ自動車の購入及び防火水槽（3基）を設置。
- ○防災備蓄倉庫、浄水機、可搬ポンプなどを購入。

労働費

- ○退職金共済制度奨励補助金を増額。
- ○住宅資金利子補給を拡充。
- ○労働金庫・友愛労働信用組合の貸付金を増額。
- ○障害者雇用奨励金を交付。

市民1人当たりの市税収入（予算）



下の棒グラフの一般会計歳入予算にあるように、歳入の五七・七%を占める市税は、前年度より一六・五%増えて八十六億二千二百七十七万円です。内訳は、個人市民税が三十四億七百二十四万円（対前年度伸び率一六・四%増）、法人市民税が十二億八十八万円（二二・九%増）、固定資産税が二十九億千百七万円（一五%増）、その他が十一億三百五十八万円（一四・三%増）です。

二番目に大きい国庫支出金十八億八千七百六十一万円の内訳は、小学校施設整備（杉本小学校校舎及び用地など）に七億四千二十五万円、運動公園整備などに三億七千二百三十万円などです。

三番目に大きい市債十八億千七百四十万円は、前年度と比較して二五・九%と大幅に伸びています。これは、消防（仮称）南分署・図書館及び（仮称）教育センターの建築、杉本小学校舎買収などによるものです。

なお、伸び率マイナス六九・一%となっている地方交付税は市税収入が増加したため、大幅な減額となりました。

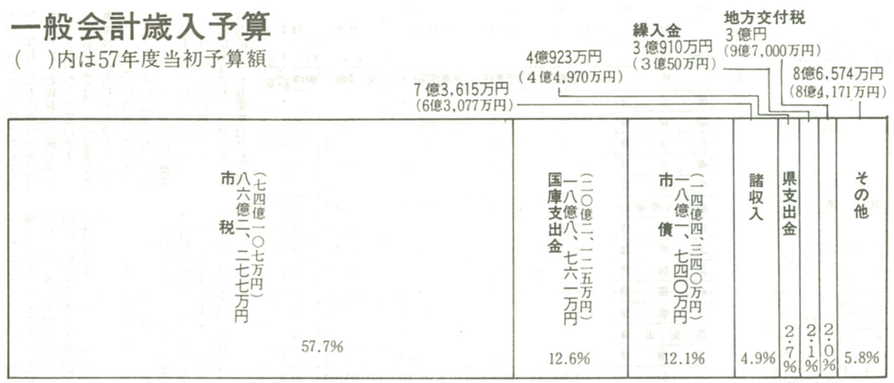
歳入

58パーセントを占める市税

建築債など市債は大幅増

一般会計歳入予算

（　）内は57年度当初予算額



国民健康保険事業

市民の4分の1が加入

国民健康保険は、勤め先の名健康保険に加入している人、生活保護を受けている人などを除き、すべての人々が加入しなければならない保険です。事業としては、病気や負傷をしたときに安心して治療が受けられるよう互いに助け合う医療保険制度です。昭和五十八年三月末現在の国民健康保険加入者は、二万三十五人で、市民の約四分の一の方が加入しています。

本年度の予算総額は、十八億六百四十九万円で、前年度に比べて五・六%減となりました。これは主として本年二月から施行された老人保健特別会計により医療費の支出が大幅に少なくなることが要因となっています。

歳入では、国庫支出金九億七千三百六十二万円（構成比五三・九%）と国民健康保険税七億三千七百六十万円（構成比四〇・八%）で全体の九四・七%を占めています。

歳出では、保険給付費が十三億千三百八十万円（構成比七二・七%）と老人保健拠出金四億三千四百五十三万円（構成比二四・一%）で全体の九六・八%になっています。

医学・薬学の進歩は、医療の内容を充実させ、治癒も早くなってきています。一方、被保険者のみなさんが、早期発見・早期治療に努めるとともに、予防にも心がけていただいた結果、医療費は以前のような大幅な伸びはなくなりました。

しかし、またまた医療費の増加が国民健康保険会計を圧迫しているのが実情ですので、一層の健康管理が必要です。

健康はみんなの願い
（健康センターの乳児相談から）

下水道事業

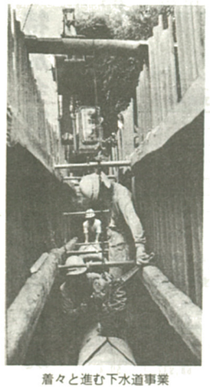
60年度までに44%

下水道事業は、都市の健全な発達、公衆衛生の向上を図り、併せて公共用水域の水質保全を目的として行われる事業です。

市では第一段階として中新田・河原口・上郷・下今泉の一部、さつき町の全部の区域で事業を進め、その整備をほぼ完了し、新たな事業地へ向けて工事が進行しています。

本年度は昭和六十年度までに全国の下水道普及率の目標四四%達成を目指す市第五次下水道整備五カ年計画（五十六～六十年度）に合わせて、国庫補助事業として、大谷真鯨堀幹線を施工し、また国分寺台、上今泉、大谷地区などの枝線を施工します。市の単独事業としては、上今泉、大谷、河原口、中新田、国分寺台地区などの枝線を施工し、整備面積を拡大し、普及率の向上を図ります。

本年度の予算総額は十四億五千三百六十七万円で、前年度に比べて三・四%増となります。


着々と進む下水道事業

老人保健

2月に国保から分離

老人保健特別会計は、老人保健法第三十三条（特別会計）の規定に基づいて（昭和五十七年度末（五十八年一月）に国民健康保険特別会計から分離して設けられましたが、本格的に特別会計として通年機能するのは、本年度が初めてです。

老人保健法は、国民の自助と連帯の精神に基づいて、老後の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、予防・治療・機能訓練などの各種保健事業を総合的に行うとともに、これに必要な費用は国民が公平に負担することを目的としています。老人保健特別会計は、この目的に合った運営をすることは当然ですが、医療費の保障に偏りがちであった従前の弊害を是正しながら効率的運営を目指すものです。

また、今後とも毎年相当の老人医療費の伸びが予測される中で、老人医療費の一部を助成し、支出の適正化を図ります。

特別会計

自然災害時に損害の一部を補てん

農業共済事業

去年は5千万円を支出

農業共済事業は自然災害の多いわが国で農作物などが被害にあったとき損害の一部を補てんする制度です。例えば去年の台風による被害に対して共済金として四千九百六十三万円を支払いました。

本年度の予算は、三千八百四十八万円で、内訳は農作物共済勘定九百六十三万円、蚕繭共済勘定二十万円、家畜共済勘定六百八十六万円、園芸施設共済勘定六百六十七万円、業務勘定一千五百十二万円です。

健康で幸せな老後を

57年度予算の執行状況

昭和五十七年度予算は、一般会計と特別会計とを合わせた当初予算額が百七十四億九千七百三十三万円でしたが、その後の補正で百八十七億三千二百二十六万円となりました。

各会計ごとの内訳は、一般会計が百四十億五千八百四十万円に対し、四回の補正で十億四百十九万円が追加され、百五十億六千二百五十九万円となりました。なお、左表の執行状況では前年度からの繰越金一億五千百三十三万円が入っています。

特別会計では、国民健康保険事業会計が当初十九億千二百六十六万円に三回の補正で四千六百五十五万円が追加され、十九億五千九百二十一万円に。農業共済事業会計が当初三千九百九十七万円に一回の補正で七千百万円が追加され、一億千九十七万円に。下水道事業会計が当初十四億五百九十五万円に一回の補正で三千八百十四万円が減額され、十三億六千七百八十一万円に。そして、老人保健特別会計は当初通り八千三十五万円です。

二月二十八日現在（老人保健は二月一日に施行され、他の特別会計と同じ二月二十八日現在では執行率が0％のため、最新の現在日で載せました）の各会計予算の執行率は、下表の通りです。

一般会計予算の執行状況

〈歳　入〉　(58.2.28 現在　単位：万円)

款	当初予算額Ⓐ	補正予算額Ⓑ	予算現額Ⓐ+Ⓑ	収入済額Ⓒ	執行率Ⓒ/Ⓐ+Ⓑ
市税	740,107	60,085	800,192	796,406	99.5%
地方譲与税	14,500	0	14,500	8,149	56.2
自動車取得税交付金	16,900	0	16,900	11,875	70.3
地方交付税	97,000	−35,089	61,911	57,183	92.4
交通安全対策特別交付金	600	245	845	845	100.0
分担金及び負担金	15,253	485	15,738	13,076	83.1
使用料及び手数料	9,776	0	9,776	8,235	84.2
国庫支出金	202,125	9,103	211,228	142,983	67.7
県支出金	44,970	456	45,426	30,521	67.2
財産収入	17,142	1,160	18,302	16,895	92.3
寄付金	――	75	75	105	140.0
繰入金	30,050	8,000	38,050	50	0.1
繰越金	25,133	33,024	58,157	58,157	100.0
諸収入	63,077	7,132	70,209	41,488	59.1
市債	144,340	15,743	160,083	0	0.0
計	1,420,973	100,419	1,521,392	1,185,968	78.0

〈歳　出〉　(58.2.28 現在　単位：万円)

款	当初予算額Ⓐ	補正予算額Ⓑ	予算現額Ⓐ+Ⓑ	支出済額Ⓒ	執行率Ⓒ/Ⓐ+Ⓑ
議会費	18,182	2,114	20,296	18,425	90.8%
総務費	157,005	10,560	167,565	143,269	85.5
民生費	220,056	9,387	229,443	171,512	74.8
衛生費	119,745	15,686	135,431	98,309	72.6
労働費	6,382	72	6,454	5,902	91.4
農林水産業費	20,463	4,015	24,478	13,451	55.0
商工費	21,240	373	21,613	20,755	96.0
土木費	358,311	17,595	375,906	256,789	68.3
消防費	42,937	8,053	50,990	43,701	85.7
教育費	358,898	30,349	389,247	205,795	52.9
公債費	92,574	5	92,579	41,795	45.1
諸支出金	180	0	180	0	0.0
予備費	5,000	2,210	7,210	0	0.0
計	1,420,973	100,419	1,521,392	1,019,703	67.0

特別会計予算の執行状況

国民健康保険事業

〈歳　入〉

款	予算現額Ⓐ	収入済額Ⓑ	執行率Ⓑ/Ⓐ
国民健康保険税	72,751	61,280	84.2%
国庫支出金	101,584	71,066	70.0
県支出金	720	934	129.7
財産収入	2	1	50.0
繰入金	14,000	14,000	100.0
繰越金	6,232	6,232	100.0
諸収入	632	370	58.5
計	195,921	153,883	78.5

〈歳　出〉　(58.2.28 現在　単位：万円)

款	予算現額Ⓐ	支出済額Ⓑ	執行率Ⓑ/Ⓐ
総務費	4,726	3,910	82.7%
保険給付費	181,647	128,711	70.9
老人保健拠出金	2,328	0	0.0
基金積立金	2	1	50.0
公債費	2,585	0	0
諸支出金	2,486	42	1.7
予備費	4,727	0	0.0
計	195,921	132,664	67.7

農業共済事業

〈歳　入〉

款	予算現額Ⓐ	収入済額Ⓑ	執行率Ⓑ/Ⓐ
農作物共済勘定	8,121	5,525	68.0%
蚕繭共済勘定	40	34	85.0
家畜共済勘定	686	415	60.5
園芸施設共済勘定	730	368	50.4
業務勘定	1,520	1,386	91.2
計	11,097	7,728	69.6

〈歳　出〉　(58.2.28 現在　単位：万円)

款	予算現額Ⓐ	支出済額Ⓑ	執行率Ⓑ/Ⓐ
農作物共済勘定	8,121	5,000	61.6%
蚕繭共済勘定	40	27	67.5
家畜共済勘定	686	392	57.1
園芸施設共済勘定	730	199	27.3
業務勘定	1,520	1,365	89.8
計	11,097	6,983	62.9

下水道事業

〈歳　入〉

款	予算現額Ⓐ	収入済額Ⓑ	執行率Ⓑ/Ⓐ
分担金及び負担金	3,759	3,743	99.6%
使用料及び手数料	4,113	4,821	117.2
国庫支出金	21,041	9,986	47.5
繰入金	56,232	53,509	95.2
繰越金	1,716	1,716	100.0
諸収入	50	3	6.0
市債	49,870	0	0.0
計	136,781	73,778	53.9

〈歳　出〉　(58.2.28 現在　単位：万円)

款	予算現額Ⓐ	支出済額Ⓑ	執行率Ⓑ/Ⓐ
総務費	18,467	15,732	85.2%
事業費	90,868	40,461	44.5
公債費	27,346	12,744	46.6
予備費	100	0	0.0
計	136,781	68,937	50.4

老人保健

〈歳　入〉

款	予算現額Ⓐ	収入済額Ⓑ	執行率Ⓑ/Ⓐ
支払基金交付金	5,463	0	0.0%
国庫支出金	1,559	1,360	87.2
県支出金	389	350	90.0
繰入金	624	624	100.0
計	8,035	2,334	29.0

〈歳　出〉　(58.3.31 現在　単位：万円)

款	予算現額Ⓐ	支出済額Ⓑ	執行率Ⓑ/Ⓐ
総務費	2	1	50.0%
医療諸費	7,799	1,065	13.7
予備費	234	0	0.0
計	8,035	1,066	13.3

市債・基金・市有財産の状況

市債の現在高

(単位：万円)

会計	区分	57.9.30 現在高	57.10.1～58.3.31 借入額	57.10.1～58.3.31 償還額	58.3.31 未償還額
一般会計	庁舎建設債	2,275	0	92	2,183
	社会福祉施設債	68,720	0	533	68,187
	児童福祉施設債	10,420	0	760	9,660
	健康センター債	726	0	14	712
	農林水産債	1,645	0	99	1,546
	市道債	14,284	0	190	14,094
	都市計画債	110,766	0	868	109,898
	公営住宅債	140	0	25	115
	消防施設債	2,385	0	394	1,991
	教育施設債	522,676	8,110	24,075	506,711
	青少年会館用地債	950	0	190	760
	特例地方債	13,590	0	1,734	11,856
	計	748,577	8,110	28,974	727,713
特別会計	相模川流域下水道債	128,595	0	689	127,906
	公共下水道債	226,341	3,300	986	228,655
	計	354,936	3,300	1,675	356,561

基金の状況

(58.2.28現在　単位：万円)

基金名	現在高	備考
財政調整基金	127,780	現金
奨学金基金	504	〃
土地開発基金	18,545	〃
〃	5,000	貸付金
〃	714.84㎡	土地
用品調達基金	240	現金
〃	89	売掛金
〃	96	買掛金
〃	1,355ℓ	ガソリン
〃	2,295ℓ	軽油
〃	4	自動車消耗品
公共施設整備基金	110,652	現金
まごころ基金	764	〃
国民健康保険財政調整基金	40	〃
国民年金印紙購入基金	52	〃
〃	448	印紙

行政財産

(58.2.28現在　単位：㎡)

名称	土地面積	建物面積(延)	備考
庁舎	7,747	4,998	
消防施設	5,765	1,814	
小学校	200,731	59,774	13校
中学校	83,634	28,170	5校
学校給食センター	6,313	2,107	2館
図書館	0	475	1館
市営住宅	27,755	4,402	145戸
児童館	3,975	2,580	12館
保育園	9,662	1,776	5園
総合福祉センター	2,095	540	1館
トラクター格納庫	0	140	1棟
ライスセンター	902	194	1館
公園	141,456	69	
国分寺史跡地	11,795	0	
ひさご塚	799	0	
一般廃棄物処理用地	10,625	0	
中部福祉館	0	157	1館
わかば作業所	1,043	197	1所
わかば学園	1,043	231	1園
健康センター	1,370	393	1館
美化センター	3,309	1,103	1館
文化会館	0	3,970	1館
公民館	0	1,570	1館
その他	21,952	437	
計	541,971	115,097	

普通財産

(58.2.28現在　単位：㎡)

名称	土地面積	建物面積(延)	備考
田	13,068	0	
畑	9,550	0	
宅地	19,933	0	
雑種地	3,309	0	
計	45,860	0	

仁王様が"入院"

龍峰寺の金剛力士像を修復

放火によって損傷を受けた国分の瑞雲山―龍峰寺（大西幸道住職）の仁王像が、三月三十日、修復のため、仏師の手に渡されました。

この仁王像が放火されたのは去年の九月十四日の夕方で、仁王門に向かって左側の吽形（うんけい）が胴にまとっていたサラシに火をかけられて、胴体の一部が炭化してしまったものです。

今回の修復はこの吽形だけでなく、右側の阿形（あけい）も同時に行いますが、その費用は合計七百六十万円。二体同時に修復するのは、片方だけ行うとバランスが損われ、美観の点で難があるのと、寛延四年（一七五一）に大仏師薩磨（さつま）によって作られて以来の損傷部分もここで補強する目的もあってのこと。

燃えた吽形は損傷部分を合成樹脂で補強し、木くず漆で形を整え、また、吽形、阿形両方とも仕上げは古色仕上げとなる予定です。

ところで、この仁王像は、正式な名前を密迹（しゃく）金剛力士像と言い、高さ二・一三㍍、胴まわり一・七四㍍の堂々たる力強い仁王様で、昭和五十年三月、市の指定文化財にもなりました。この仁王様は、昔、不幸な農民の娘に代わって田の草取りをしてくれた、という伝説から「田の草仁王」の別名を持ち、広く市民から親しまれています。なお、修復完了予定は九月末です。

修復のため解体された"田の草仁王"

今月のプロフィル

キャンバスの青春

聴覚障害というハンデを超え画家として活躍する

梶原桂子さん（下今泉）

三歳の時、高熱のために聴力をほとんど失ったが、その明るい性格は損われることなく、キャンバスに鮮やかな色彩でぶつける青春は限りない若さと輝きに満ちている。手話サークル「さつき会」の三橋廣子さんの手話通訳で取材した。

「人物や自分の身のまわりのものを題材にすることが多いですね。風景画はあまりかきませんが、市内には風景の美しい所が多いと思います。」

学校時代の先輩だったというご主人も彼女と同じ聴覚障害を持っているが、やはり画家として活躍中である。

今、月二回、市立中央公民館と総合福祉センターで油絵を教えている。教え始めて丸一年になるが、生徒は主婦など十三人である。

「夢は大きく持ちたいと思っています。今の夢は、笑われるかも知れませんが、夫婦一緒に有名な画家になることです。日本国内で名前を知られるようになりたい。世界的な画家になんて言ったらそれこそ笑われてしまいそうですから…」

美術学校で油絵を学んだが、本格的に画家として歩きだしたのは結婚後のことで、師と仰ぐ大原省三画伯の講演を聞いてこの道に入った。

「ろうあ者にとって有用な情報を得るために新聞やいろいろな刊行物を読むのが毎日の楽しみです」

主婦業と絵、両方をうまくこなしてがんばっているが、結婚生活も二年目となり、そろそろ子供も欲しいところ。

結婚すると同時に海老名市民となった。

「海老名市は交通の便を始めとしていろいろな面で便利な所ですね。住んでまだ日が浅いためかも知れませんが、不都合なところはほとんど見あたらないまちだと思います」

好きな言葉は、「チリも積もれば山となる」。常に大きな目的を持ち、少しずつ、着実に前進しようとする生活態度がにじみ出ていて好ましい。

埼玉県出身、下今泉在住。二十五歳。

なお、梶原さんの絵画教室は「CSR美術クラブ」と言い、入会希望やお問い合わせは、CSRリハビリ市民協会の宇井さん（☎31・九四八六）。

夢は大きく

スコア・ブック

◇第20回市野球大会（4月3日・10日 日立製作所グラウンドほか）

▽A級1回戦
東洋電機製造㈱ 9－4 米山米穀
神戸屋 6－5 扇矢リバース
▽B級2回戦
シルバーイー 4－4 日立製作所
グルス（抽選勝ち）
加藤運送 4－1 ドジーズ
スターズ 5－3 皆
日立精工 4－2 いすずスターズ
ブラックバス 4－3 昭和冶金
自動車部品 8－0 B・ソックス
▽C級1回戦
ビッグワンズ 3－2 加藤車体
ダックス 6－3 スパロー
サムライ 12－5 東柏オールドボーイ
安兵衛 13－0 相鉄自動車
美吉製作所 2－1 日立産機
三和イーグル 2－1 ビッグベアーズ
タイトー 5－0 神奈川メッツ
さつきドルフィン 7－0 ウイングス
BEE 7－0 クロダワッツ
イセヤマクラブ 2－0 相鉄興産
K・メッツ 5－0 望地ファイヤーズ
ルートボーイ 7－3 SEK
ミミーズ……不戦勝

4月価格情報

(単位：円)

品目	単位	大型店 平均価格	大型店 最多価格	中小店 平均価格	中小店 最多価格
しょう油	パック1ℓ	256(▲4)	248	269(3)	280
みそ	袋入1kg	334(▲1)	338	292(▲17)	298
砂糖	白1kg	275(10)	268	241(▲49)	250
マーガリン	パック225g	189(5)	192	215(27)	188
サラダ油	ポリ700g	330(−)	−	309(−)	298
マヨネーズ	ポリ500g	322(−)	338	334(−)	−
小麦粉	薄力粉1kg	194(8)	−	200(0)	200
牛乳	パック1ℓ	203(10)	198	214(▲5)	198
鶏卵	M10個	232(15)	228	228(10)	230
かまぼこ	160g	143(▲4)	148	144(▲2)	150
即席ラーメン	100g	62(0)	62	63(▲1)	62
有リン合成洗剤	箱2.65kg	910(0)	910	881(17)	910
無リン合成洗剤	箱2.65kg	910(35)	910	914(▲27)	910
粉石けん	袋3kg	841(▲3)	850	816(▲45)	850
灯油	配達18ℓ	−(−)	−	1,641(▲6)	1,650

価格は、市消費生活モニター30人の協力を得て4月初めに調査した通常平均価格です。(　)内は前年同月比で▲は安。

動向＝前月に比べ、大きな変動はありません。合成洗剤が前年に比べ大きく値下がりしています。

善意のいずみ

次のみなさんから市社会福祉協議会の善意銀行に寄付がありました。ありがとうございました（敬称略・順不同）。

稲吉しお里（大谷）…五千円、永冨悦子（国分）…二万七千三百七十五円、波多野勝治（中新田）…二万九千九百円、松樹俊弘（上今泉四丁目）…二万千三百十五円、森チエ子（東柏ケ谷五丁目）…おむつ百枚、山口静子（国分）…二万円、明るい社会づくりをめざすさつきの会（北村貢作会長）…十三万二千八百八十五円、大判焼山口や（山口テル子）…ノート二百冊・鉛筆二十四ダース、東興映画㈱…二万円、東柏ケ谷小学校二葉子ども会第七ブロック女子…四千五百円。

情報コーナー

市役所　ところ　〒243 海老名市国分155　もしもし　31・2111(代)

市役所から

◆各体育施設の抽選会

①運動公園(庭球場) 6・7月分の土・日曜日の抽選　▷とき・ところ＝5月9日（月）午後6時、市立中央公民館　▷対象＝高校生以上の一般　▷持参するもの＝印鑑、ボールペン、使用料（1回2時間400円市外の方は2,000円）

②下今泉庭球場　5月14日から7月31日までの全日の抽選　▷とき・ところ＝5月11日（水）午後6時、市立中央公民館　▷対象＝高校生以上の市内在住在勤者　▷持参するもの＝印鑑、ボールペン

③学校体育施設（体育館、夜間照明付グラウンド）6・7月分の日程調整と抽選　▷とき・ところ＝5月16日（月）午後6時、市立中央公民館　▷対象＝学校開放施設登録団体　▷持参するもの＝印鑑、ボールペン、使用料（夜間照明のみ1時間1,000円）

④小田急総合グラウンド、上郷スポーツ広場6・7月分の土・日曜日の抽選　▷とき・ところ＝5月20日（金）午後6時、市立中央公民館　▷対象＝市内在住在勤者で構成された団体　▷持参するもの＝印鑑、ボールペン　▷受付時間＝①～④とも午後6時～6時半、6時半以降の受付はしません　▷その他＝平日と抽選にもれた土・日曜日分は、1か月前から受け付けます（ただし、学校体育施設は除く）　▷問い合わせ＝社会教育課。

◆巡回連絡にご協力を

派出所に勤務する警察官には、管内のパトロールや事件・事故の処理などのほか、巡回連絡という仕事があります。

この巡回連絡は、警察官がみなさんのご家庭を訪問して、犯罪や事故を防ぐための心構えや、万一被害にあったときの対処の方法や連絡先について話し合ったり、警察に対する要望・意見や相談などをうかがうものです。

また、警察官が訪問した際、「案内カード」にご家族の名前などを書いてもらいます。これは訪ねて来た人の道案内や迷子、事件・事故などの時の連絡、また大きな災害や事件発生の際の避難誘導に役立てるためのものです。どうぞご協力ください。

▷問い合わせ＝座間警察署（☎56・1110）。

催しもの

◆安売りデーは第2金・土

と　き・5月13日（金）、14日（土）
ところ・店頭に黄色の旗を掲げる協力店
品　物・当日、店頭に掲示板で
価　格・市場などの協力を得て廉価で
主　催・市商工会

◆青空市は5月15日・29日

▷とき・ところ＝5月15日（日）午前8時ごろから国分寺台第2児童公園②29日（日）午前8時ごろから市役所　▷品物＝サトイモ、ニンジン、ジャガイモ、イチゴ、鶏卵、白菜、ダイコン、長ネギ、キャベツ、ホウレン草、カリフラワー、盆栽など。

◆土に親しむ「土の日」を開設

市民のみなさんに、直接土に親しんでもらう「土の日」を開設します。これは、農家の方の協力で市内の畑やビニールハウスからイチゴ、じゃがいも、とうもろこしなどの農作物の収穫を家族そろって楽しんでいただくものです。また、当日は会場近くでミニ青空市も開催します。どうぞお出かけください。

▷とき・ところ＝5月7日（土）・8日（日）午前9時～午後3時、今里37番地西海幾雄さんのビニールハウス（小雨決行、会場近くに「土の日」の旗を掲示）▷作物名＝イチゴ（収穫後、廉価で即売）▷主催＝青空市実行委員会・青空市出店者会　▷問い合わせ＝農産課。

◆弓道教室に参加を

5月15日～6月12日の間の毎週日曜日、午後1時～3時ごろ、国分弓道場（資生堂グラウンド南隣り）　▷対象＝中学生以上の一般　▷費用＝手ぶくろ代100円　▷主催＝市弓道協会　▷その他＝服装は自由。用具は道場に用意してあります　▷申し込み＝5月9日までに電話で池田正一郎（☎31・5137）。午後6時～8時の間に限る。

◆春季卓球大会に参加を

5月22日（日）午前9時から、中新田小学校　▷種目＝男・女シングルス　▷対象＝高校生以上で市内在住・在勤・在学の方　▷費用＝参加料300円　▷申し込み＝5月17日までにハガキに住所・氏名・性別・電話番号を明記して、東芝精機（株）大貫（〒243　東柏ケ谷5－14－33 ☎31・8111 内線226）まで。

◆銃砲刀剣類登録審査会の日程

5月20日、7月20日、9月20日、11月18日、来年1月20日、3月19日いずれも午前10時～正午と午後1時～3時、県政総合センター　▷問い合わせ＝県教育庁社会教育部文化財保護課（☎045・201・1111 内線5386）。

フォトピックス

県立有馬高が開校
第一期生は457人

四月五日、市内で二番目の県立普通科高校、有馬高校の開校式が行われ、堀江澄男校長の力強い開校宣言で同高校の歴史の第一歩が踏み出されました。

有馬高校は、生徒の個性を啓発し、来るべき新時代に有為の人材を送り出すことを教育の基本方針としており、同高校周辺の豊かな自然環境を教材として「自然科学教室」などの特別教室の開講も計画するなど、あまり型にはまらない教育を展開するとしています。

当日、新入生四百五十七人を前に堀江校長は、「スポーツでも勉強でも何でもよい、何か目的を持って毎日学校へ来て欲しい」と語り、来賓として招かれた左藤市長も祝辞を述べて開校を祝い、同高校の歴史のパイオニアとなる第一期生を激励しました。

開校式で祝辞を述べる市長

27グループが参加
第1回公民館まつり

絵画・書道から料理まで、バラエティーにとんだ公民館講座のOB会二十七グループ二百五十人が参加して「第一回公民館まつり」が四月十六・十七の両日、市立中央公民館で開かれました。

いずれも主婦を中心としたグループですが、中には定年退職後、趣味を持ちたい、趣味を生かしたいと参加する熟年の男の方々も見受けられました。また、これらの方々の日ごろの活動の成果を結実させた作品に、訪れた方々は、一点一点熱心に見入っていました。

中でも人気を呼んだのは、和・洋・中の六つの料理グループが開いた味の競演とバザー。一個五十円のおまんじゅう、百五十円のケーキと紅茶のセット、一パック二百円の中華風のおこわ、一個五十円のエビ入りしゅうまいは、たちまちのうちに売りきれました。

なお、公民館講座の各種OB会への入会は、市立中央公民館まで（☎32・三二三一）。

日ごろの活動の成果を…

紙工作と指人形劇
たのしい子どものつどい

紙工作の指導と人形劇の上演をして子供たちに好評だったのは、三月二十七日、市立中央公民館で開かれた「たのしい子どものつどい」。

この催し、市内の十二の児童館を巡回して、工作や遊びを教えたり、指人形劇やパネルシアターを上演している社会教育指導員の星野美津子さんやE・Y・T・C（海老名指導者クラブ）の星野智美さんらが開いたものです。

午前中、子供たちが真剣に取り組んだのは、紙工作「モビールのメリーゴーランド」。市内各地区から六十二人が参加し、十四班に分かれて星野さんらに教わりながら紙工作に取り組みました。

姉弟で参加した彫山静江ちゃん（国分寺台二丁目、8歳）、慎吾ちゃん（5歳）は「国分寺台児童館で人形劇を見たり、工作や遊びを教わっています。きょうの工作はちょっとむずかしいけれど、何とかできそうです」と話していました。

午後の部は子供たちが楽しみにしていた指人形劇。E・Y・T・Cのメンバーで作っている人形劇団『まゆ』が「ポンとルルのお父さんの木」を、また県立青少年センターを中心に活動している人形劇団『ピッコロ』が「ヘンデルとグレーテル」を上演しました。

子供たちの喜ぶ顔を見るのがとても楽しみ、と星野さんらは今日も市内の児童館を回っています。

なかなか、むずかしいなあ

頼もしい味方を配属
第9分団にポンプ車

三月二十五日、市消防本部で消防自動車の配属式が行われ、第九分団（中河内）に最新型のポンプ車が配属されました。

このポンプ車は排気量三千九百五十六cc、百二十五馬力で、以前第九分団で十四年間使用していたポンプ車と比べ、災害時などに抜群の強さを発揮する四輪駆動を備えているため、式後、分団員の間から「これは頼もしい」といった声が聞かれました。ポンプ車の今後の活躍が期待できそうです。

新ポンプ車の活躍に期待が

大谷中 橘田さんが入選
「税に関する作文」コンクール全国の部で

全国納税貯蓄組合連合会主催の「税に関する作文」コンクールに、大谷中学校二年生の橘田美加穂さん（大谷、13歳）の作品が入選し、橘田さんは、二月二十五日、母校の大谷中学校で厚木税務署管内納税貯蓄組合総連合会会長　小島民章さんから表彰状と記念品を授与されました。

この作文コンクールは中学生を対象に、税を正しく理解してもらうため行われたもので、全国から十一万四千二百点、市内からは二百三十八点の作品が集まりました。

入選した橘田さんは「作文を書く前は、税のことにあまり興味がなく、テレビのニュースで見る程度でした。でも、作文を書くため資料を調べているうちに、内容はとても難かしいけど私たちにとって大切なものなんだ、ということが、なんとなくわかりました」と語っています。

母校の大谷中学校で表彰された橘田さん

……橘田さんの作文……

「税金教室」を読んで

大谷中学校二年　橘田美加穂

よく、税金、という言葉を耳にします。「税金が高い」とか、「税金がかかる」とか。しかし、私は、「税金、ああ税金か」と思うだけで、税金というのは何なのか、また、税金というのはどんな働きをしているのか考えたことも ありませんでした。

まず、国税と地方税に大きく二つに分かれていることがわかります。税金を納める相手が国か地方公共団体かによる区別だそうです。

しかし、これは、本当に大きく分けたものでこの国税が直接税と間接税に、地方税が都道府県税と市町村民税に分かれ、それが、また、所得税や法人税に細かく分かれ、全部で五十五種もあるそうです。

この五十五種類に分かれた一つ一つが、重要な役割をしているのです。わが国は、福祉国家であり、昭和五十七年度の社会保障関係費は歳出予算の一八・三%をしめています。

これは、とても大切なことだと思います。お年寄りや、体の不自由な人、生活に困っている人のために、みんなの力で助けてあげるのです。しかし、まだまだ満足のいく施設が少ないのだそうです。もっともっとボランティア運動を盛んにし、世界の先頭に立つような、そんな国を目指していきたいと思います。

その他、今、義務教育とされている小中学校の校舎の建設、教科書の配布、給食設備などの費用は、国、都道府県、そして市町村で負担しています。これらは、道路や住宅、たばこ、石油、砂糖消費などにかかる税金によって、まかなわれています。

私は、まだ、中学生なので、父や母が税金を払っています。だから、税金なんて、自分には関係ないと思っていました。

でも、こんなに身近な所で、その力を発揮していたのです。私が、大人になって、自分で税金を払うようになるまで、もっともっと税金の勉強をして、理解したいと思います。

☆参　考

一、生徒一人当たりの教育費（国、県、市の台計負担額）

◎高校生二人、一年間…五十九万二千円（昭和五十五年度中の経費）◎中学生一人、一年間…五十二万八千円（同）◎小学生一人、一年間…四十三万三千円（同）

二、年収三百万円、夫婦子供二人のサラリーマンの所得税・市県民税額…十一万六千六百円（昭和五十七年度分）

海老名むかしばなし
第66話　大山道を訪ねて　その8

上の原へ出ると視界が開け、そのまま進むと、赤坂から井上製作所方面へ通じる道と合流しますので、そこで左に折れて西に向います。やがて下り坂にさしかかり、途中の三叉（さ）路に四角い庚申（こうしん）塔があります。

この庚申塔の台石には横書きで「西大山道」、側面には「右ふじ沢、江のしま道　左江戸新道　加奈川道」と記してあります。安永七年（一七七八）に建てられたものです。

ここを過ぎて坂を下り切ると県道藤沢―厚木線に出ますが、往時はこの道を西へ下ったものか、上河内地区へ入って行ったものか明らかではありません。

ともかく県道に沿って行くと、左手奥に上河内公民館があります。その敷地内に庚申塔があり、その右側面に「右　八王子　星谷、左　大山　此方船渡道」とあります。ここで初めて渡場の案内が出てきます。

ここからは県道を西へまっすぐ耕地の中を進み国鉄相模線の社家駅へ向います。途中、永池川を渡り、さらに進むと次に左岸用水路に架けられた橋を渡りますが、この橋のたもと南側に二つの庚申塔があり、判読しにくいのですが、ひとつは正面に「庚申塔　左大山道　此方船わたし」とあります。もうひとつの正面には「庚申供養　右　本しの谷　ねした道、南　一之宮、左大山」と書いてあります。

この後、道は右へ行くのとまっすぐ行くものに分かれますが、まっすぐ進み、相模線の踏切を渡り社家地区の集落に入ります。

台石に「大山道」の文字が

さらに西へ進んで相模川の堤防を過ぎ、相模川の川原に出ます。往時はこのあたりに渡場があったと思われますが、今では県営水道の取水口があり、東名高速道路の橋が架かっています。

小舟で川を渡った旅人たちは川向うの岡田（厚木市）に上がり一路、大山へ大山へと急いだものだったのでしょう。

（浜田二郎氏＝本郷＝から寄稿されたもの）

この「大山道を訪ねて」は今回をもって終了します。

訂正…四月一日号の第64話「大山道を訪ねて　その7」の文中、庚申塔の説明で「…万延弐巳年（注＝一八六一）…」とあるのを、「寛延弐巳年（一七四九）」に訂正します。